



## 作品や地域おこしの記録を展示 伊自良中央公民館文化祭



11月4日と5日、伊自良中央公民館で文化祭が開催され、大勢の家族連れで賑わいました。

館内には、公民館講座や学習サークルの作品展示のほか、伊自良地域の保育園、小・中学校の子どもたちや福祉施設の人が作った多くの作品が並びました。

また、伊自良地域で平成初期から地域おこしに取り組んできた人の活動の写真と資料の展示もあり、飲食コーナーやスポーツ吹き矢などの体験コーナー、スタンプリナーなどと合わせて、来場者は楽しいひとときを過ごしていました。

## 山県高等学校で模擬選挙

11月8日、県立山県高等学校で、模擬選挙が行われました。

この模擬投票は、18歳から選挙権を持つことになる生徒に、選挙制度について知ってもらうことを目的として実施されました。まず、市選挙管理委員会書記による選挙制度の説明を聞いた後、「山県高校MIRA Iプロジェクト特別顧問」を選ぶという想定で、実際に選挙で使用されている記載台や投票箱を使用し、投票から開票までを体験しました。

投票を体験した生徒は、「最初に投票所に行った人が、空の投票箱を確認することに驚いた」と語りました。



## 詐欺被害にあわないために いこいの広場で寸劇



11月10日、伊自良老人福祉センターで、消費生活トラブルについての寸劇が行われました。

この寸劇は、お年寄りの閉じこもり予防のために開催している「いこいの広場」の参加者を対象に実施され、電話による強引な商品販売、プリペイドカードを使った振り込め詐欺などを題材に行われました。寸劇を見た参加者は、市の消費生活相談員に質問をしたり、自分の体験談を話したり、楽しく会話しながら、詐欺にあわない方法やトラブルに巻き込まれた時の対処方法を学びました。

## 地元企業の魅力を知ろう 美山中学校で働く大人講座

11月15日、美山中学校で、働く大人講座「わが社の自慢」が行われました。

この講座は、地元で働く大人たちの魅力を生徒に伝え、将来の地元定着に結びつける目的で実施されました。

講座当日は、市内15事業所が参加し、自社の製品や商品を持ち込んで会社概要を説明したり、地元で働くことの良さを話したりしました。

講座を受けた生徒は、「話を聞いた企業のことが好きになった」「自分が住んでいる美山の良さに改めて気付くことができた」と感想を話しました。



## 家庭・学校・地域が連携 青少年育成・PTA合同大会



11月19日、美山中央公民館で山県市青少年育成推進大会・山県市PTA連合会研究大会が行われ、桜尾小学校区青少年育成市民会議と伊自良中学校PTAによる地域活動の様子や成果、課題の発表がありました。

また、清流の国ぎふ防災・減災センターの西田重成さんと、県危機管理理部防災課の駒月良美さんが「青少年からはじめる災害ボランティア」「災害から命を守る防災対策」と題し、地震への備えの重要性や、東日本大震災での青少年の献身的な取り組みについて講演しました。

参加者は、家庭、学校、地域がより連携を深めて、子どもたちを見守り、育てることの大切さについて改めて認識を深めていました。

## 女性への暴力は、 ダメ、ゼッタイ！

11月22日、市内の商業施設で女性に対する暴力をなくす運動の啓発活動を行いました。

この運動は、行政、女性団体その他の関係団体との連携、協力のもと、女性に対する暴力の問題に関する意識の変革を進めることを目的に、11月12日から25日までの2週間を期間として啓発を行うものです。

当日は、市職員と市観光親善大使ナッチョルくんが、商業施設を利用する人に、相談窓口の情報などが記載された啓発用のパンフレットなどを手渡しました。



## いじめのない明るい地域社会 実現に向けて協定を締結



11月16日、電柱にいじめ防止を訴える標語看板を設置し、「いじめ問題」への関心と意識を高めることを目的に、市と中電興業(株)岐阜営業所、テルウェル西日本(株)東海支店が協定を締結しました。

看板に掲載する標語は、市内小・中学校から779点の応募があり、選考により優秀賞6点が選ばれました。

市長は、「今回の取り組みが、市民の意識を高揚させ、いじめ問題解決の一助になることを願います」と話しました。

## 災害時の特設公衆電話設置に 向けた覚書を締結



11月13日、西日本電信電話(株)岐阜支店と「特設公衆電話の設置等に関する覚書」を締結しました。

この覚書は、災害発生時、安否確認や問い合わせなどで回線が混雑したときの通信手段を確保することを目的とし、避難者が無料で使用できる発信専用特設公衆電話の設置や利用について定めたものです。

この覚書により、12月末までに、市内16カ所の避難所で災害時優先回線設置工事を完了し、災害発生時には市が電話機を設置します。

## 家族の絆感じた瞬間 モラロジーエッセイ表彰式



11月4日、美山中央公民館で「第5回家族のきずなエッセイ」の表彰式が行われました。「家族のきずな」をテーマに、市内小学校4・6年生から応募のあった388点のエッセイから、審査の結果、優秀作品7点、入賞20点が選出されました。

モラロジー研究所賞に選ばれたのは大野百花さん(梅原小⑤)の「生きてるって家族のおかげ」。大野さんは、「家族から教えられたことは、次の自分の家族に教えないといけない。そうやって人はつながって生きてきた」と家族の絆の大切さを話しました。



## 木野村嘉朗さんが 全国公平委員会連合会表彰を報告



12月1日、市公平委員会委員の木野村嘉朗さんが、全国公平委員会連合会表彰の受賞報告のため、市長を表敬訪問しました。

木野村さんは、平成21年5月に市公平委員会委員に選任され、以来、現在に至るまで長年その重責を果たし、公正中立な立場で人事行政の適正化、公平性の確保に尽力するなど、本市の公平委員会の運営に貢献した功績により表彰されました。

## 篠田きみさん 100歳を迎える



11月29日、篠田きみさんが100歳の誕生日を迎えました。

篠田さんは縫製の内職をしながら4人の子どもを育てあげ、平成2年にご主人を亡くしたあとも今年の3月まで市内で一人暮らしをしていました。

健康の秘けつは、「歩くこと」とのことで、手先が器用で、趣味で編み物もしていました。現在は、介護老人保健施設に入所しており、当日は、親族や他の入所者と一緒に誕生日を祝いました。

## 秋の叙勲で村瀬伊織さんが 「旭日双光章」を受章



秋の叙勲において、元山県市議会議員の村瀬伊織さんが旭日双光章を受章しました。

村瀬さんは、平成3年10月から高富町議会議員を経て、町村合併後も平成28年4月まで市議会議員を務めました。連続6期24年7月の長きにわたり、教育施設や道路整備など、地方自治の発展に多大な貢献をしました。

この受章に村瀬さんは、「多くの地域の皆さんや家族などの支えがあったおかげです。今後も地域のために尽くしたい」と感謝の言葉を伝えました。



## みんなのげんき広場に 健康遊具を設置

みんなのげんき広場に、健康遊具3基が12月末に設置されました。

この遊具は、(株)十六銀行から、創立140周年記念事業として市に寄贈されたもので、気軽にストレッチできます。

「上体ひねり」と「ぶらさがり」には使用方法も掲示されているので、みなさんの健康づくりに役立ててください。



▲ストレッチベンチ

突起のある背もたれにもたれかかり、上半身をストレッチする遊具



▲ぶらさがり

バーにぶらさがり、背中を伸ばす遊具



▲上体ひねり

中央のいすに座って体をひねり、上半身をストレッチする遊具

## 健康遊具一覧

# 山縣市学校保健研究大会

10月12日(木)、花咲きホールで、第44回山縣市学校保健研究大会がありました。岐阜市民病院 小児科部長である篠田邦大さんを講師に迎え、「小児がんを誤解していませんか?」と題して講演を行いました。

また、「学校環境衛生活動優良校」と「歯と口腔の健康づくり最優秀賞」の表彰があり、次の学校と児童が受賞しました。

図 学校教育課 Tel.22-6844

## ■学校環境衛生活動優良校

最優秀校 梅原小学校  
優 秀 校 大桑小学校  
優 良 校 美山小学校

## ■歯と口腔の健康づくり最優秀賞

|         |       |          |
|---------|-------|----------|
| 小学校3年男子 | 高富小学校 | 丹羽 優汰 さん |
| 小学校3年女子 | 梅原小学校 | 森 まりも さん |
| 小学校6年男子 | 富岡小学校 | 林 優真 さん  |
| 小学校6年女子 | 高富小学校 | 山脇 珠香 さん |



林 優真 さん 丹羽優汰 さん 山脇珠香 さん 森 まりも さん

## 平成29年度 「歯と口腔の健康づくり」最優秀賞受賞者の皆さんの声

### 「8020をめざすよ」

高富小学校 丹羽 優汰

「3年生、丹羽優汰さん。」と発表されてとてもびっくりしたし、うれしかったです。ぼくは、はのために気をつけていることが3つあります。1つ目は、ごはんの後にはをみがくこと、2つ目は、おかしなどをだらだら食べないこと、3つ目は、はいしゃに定期けんさに行くことです。どれもかんたんにできることばかりなので、わすれないように気をつけています。おじいちゃんになるまで、はを大切にしていきたいです。

### 「歯をきれいにするために」

梅原小学校 森 まりも

わたしは、さいゆうしゅうしょうで名前をよばれたとき、本当におどろきました。そしてすごくうれしかったです。これからも毎日、朝、昼、夜にしっかりとみがきをしていきたいです。とくに気をつけることは、あまい物をあまり食べないことと、ていねいにみがくことです。このことを意識して、これからもはをずっと大切にしていきたいです。

### 「いつまでも歯を大切に」

富岡小学校 林 優真

ぼくは、自分が今までみがいてきた歯が、最優秀賞に選ばれたので本当にうれしいです。学校の歯科健診で、学校の代表に選ばれ、審査会に行くと決まった日から、いつも以上にていねいにみがきました。最優秀賞に選ばれたので、これからも歯を大切にして、自信をもって「8020」を目指していきたいです。

### 「努力が実って最優秀賞」

高富小学校 山脇 珠香

私は最優秀賞をもらって、とてもうれしく思いました。3年生の時に二次審査まで進んでいたけど、当日にかぜをひいて審査会に行けず、くやしい思いをしました。その時から、6年生の審査会を目標にして、3年間歯磨きをがんばってきたので、その成果を出せたことと、歯科医の先生にもほめてもらったこともすごくうれしかったです。これからも磨きにくいところほど細かく磨いて、生がい自分の歯で食事をしたいと思います。